

Supplementary Table S4. アンケート全設問の回答分布

各割合は有効回答数を分母として算出した。

有効回答数は総計、または脚注に示す。

【I. 回答者属性】

1-1 年齢

年齢区分	n	%
20代	11	0.8%
30代	235	17.6%
40代	510	38.3%
50代	375	28.2%
60代	176	13.2%
70代	18	1.4%
80代	6	0.5%
不明（入力異常を含む）	1	0.1%
総計	1332	100%

1-2 性別

	n	%
男性	1207	90.6%
女性	110	8.3%
回答しない	15	1.1%
	1332	100%

1-3 卒業年度（学部卒業年）（西暦）

	n	%
～1969	8	0.6%
1970-1979	14	1.1%
1980-1989	141	10.6%
1990-1999	357	26.8%
2000-2009	489	36.7%
2010-2019	298	22.4%
2020-2023	25	1.9%
不明（入力異常を含む）	1	0.1%
総計	1332	100%

1-4 学位取得

	n	%
あり	1064	80.2%
なし	263	19.8%
総計	1327	100%

1-5 勤務先所在地

地方	n	%
北海道	72	5.4%
東北	86	6.5%
関東	427	32.2%
中部	221	16.6%
近畿	247	18.6%
中国	94	7.1%
四国	39	2.9%
九州・沖縄	135	10.2%
国外	7	0.5%
	1328	100%

1-6 主たる勤務医療機関(以下、同じ)の母体はどれですか?

	n	%
大学病院(旧国公立)	389	29.4%
大学病院(私立)	169	12.8%
国立病院機構	60	4.5%
都道府県立病院	90	6.8%
市町村立病院	155	11.7%
公的病院(日赤、済生会など)	171	12.9%
私立病院	243	18.3%
診療所	26	2.0%
その他	22	1.7%
	1325	100%

1-7 勤務医療機関の種類はどれですか？

※複数選択可。割合は有効回答者数（n=1313）を分母として算出した。

	n	%
急性期（一般病床が中心）	969	73.8%
慢性期（療養病床が中心）	24	1.8%
特定機能病院	417	31.8%
地域医療支援病院	92	7.0%
診療所(無床)	24	1.8%
診療所(有床)	5	0.4%
その他	19	1.4%

1-8 勤務医療機関における現在の役職は以下のどれですか？

※複数選択可。割合は有効回答者数（n=1321）を分母として算出した。

役職	n	%
理事長	12	0.9%
院長	61	4.6%
副院長	92	7.0%
診療部長	105	7.9%
部長	246	18.6%
副部長	76	5.8%
医長	143	10.8%
医員	168	12.7%
レジデント(後期研修医も)	20	1.5%
初期研修医	0	0.0%
教授	76	5.8%
准教授	60	4.5%
講師	91	6.9%
助教	161	12.2%
研究生	3	0.2%
大学院生	48	3.6%
その他	37	2.8%

1-9 先生のご専門領域はどれですか？

	n	%
一般外科	235	17.9%
食道	90	6.8%
胃	193	14.7%
肝胆膵	409	31.1%
大腸	330	25.1%
救急	18	1.4%
その他	40	3.0%
総計	1315	100%

1-10 医師の時間外労働の上限規制の適用分類に関して、2025年7月時点であなた自身に当てはまる水準は次のうちのどれですか？

	n	%
A	530	40.2%
B	200	15.2%
連携 B	79	6.0%
C-1	32	2.4%
C-2	14	1.1%
どれでもない (専門業務型裁量労働制適用者、休職・休業中など)	92	7.0%
わからない	371	28.1%
総計	1318	100%

【II. 学会参加・発表の実態】

主に外科医が参加する学会・研究会の参加・発表状況についてお尋ねします。国際学会は除いてお答えください。

2-1 発表回数の平均は年間何回でしたか？（過去3年程度、Web参加も含む）

回数	n	%
1～3	498	37.4%
4～6	399	30.0%
7～9	164	12.3%
10～12	90	6.8%
13～15	26	2.0%
16～19	10	0.8%
20～29	6	0.5%
30以上	4	0.3%
発表していない	134	10.1%
総計	1331	100%

2-2 発表に関わる年間自己負担額（交通費、宿泊費、参加費）は平均でどの程度ですか？

負担額	n	%
5万円未満	267	22.4%
5～10万円未満	301	25.3%
10～20万円未満	267	22.4%
20～30万円未満	140	11.8%
30～40万円未満	75	6.3%
40～50万円未満	50	4.2%
50～60万円未満	38	3.2%
60～70万円未満	10	0.8%
70～80万円未満	16	1.3%
80～90万円未満	5	0.4%
90～100万円未満	10	0.8%
100万円以上	12	1.0%
総計	1191	100%

2-3 学術集会等への演題の応募は、回答者ご本人の希望で応募していますか？

	n	%
すべて本人希望で応募している	460	34.9%
多くは本人希望で応募している	423	32.1%
半分は自分の希望で発表している	231	17.5%
自分の希望で発表することは少ない	149	11.3%
自分の希望で発表することはない	54	4.1%
(全て言語・非言語的な指示による)		
総計	1317	100%

2-4 「演題数が募集目標に達していないため」という理由で演題登録を依頼された経験はありますか？

	n	%
ない	167	12.7%
ほとんどない	105	8.0%
何回かはある	547	41.5%
多数回ある	499	37.9%
総計	1318	100%

2-5 1回の学会の平均滞在時間をおこたえください。

	n	%
1～3 時間	52	3.9%
3～6 時間	157	11.9%
6 時間以上	100	7.6%
宿泊を伴う (1 日以上)	708	53.6%
宿泊を伴う (2 日以上)	284	21.5%
宿泊を伴う (3 日以上)	20	1.5%
総計	1321	100%

2-6 会場の滞在時間に影響を与える要素を選んでください。

※最大3項目まで選択可。割合は有効回答者数（n=1316）を分母として算出した。

	n	%
病院業務	993	75.5%
興味のあるセッション（役割なし）	449	34.1%
家庭	401	30.5%
金銭的事情	274	20.8%
共同演者（指導者）	225	17.1%
座長	224	17.0%
学会懇親会や個人的会合	181	13.8%
外的影響なし	78	5.9%
同時開催の研究会	43	3.3%
その他	27	2.1%

【III. 日本消化器外科学会「総会」および「大会」の参加状況】

3-1-1 過去3年間で消化器外科学会総会へ参加しましたか？

	n	%
すべて参加	644	48.5%
不参加もある	589	44.4%
すべて不参加	94	7.1%
総計	1327	100%

3-1-2 過去3年間で消化器外科学会大会（JDDW内開催）に参加しましたか？

	n	%
すべて参加	245	18.4%
不参加もある	647	48.7%
すべて不参加	437	32.9%
総計	1329	100%

3-2 不参加の理由を選択してください。

※最大3項目まで選択可。割合は有効回答者数（n=1094）を分母として算出した。

	n	%
発表なし	700	64.0%
業務	508	46.4%
費用負担	279	25.5%
プログラム内容	180	16.5%
開催場所	105	9.6%
私的事情（育児・介護）	65	5.9%
開催形式	32	2.9%
他学会	21	1.9%
私的事情（体調）	10	0.9%
その他	65	5.9%

3-3 消化器外科学会総会と大会（JDDW 内開催）の両方に参加することについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

	n	%
両方参加したい	156	11.9%
一方で十分	358	27.2%
総会だけで十分	521	39.6%
大会（JDDW 内開催）だけで十分	38	2.9%
開催場所で判断	60	4.6%
演題採否で判断	50	3.8%
どちらも参加したくない	39	3.0%
意識していない	79	6.0%
その他	13	1.0%
総計	1314	100%

【IV. 恩恵調査】

4-1 過去3年程度で参加した学会・研究会のうち、以下の恩恵を得られたと感じたものの割合を教えてください。

※各恩恵の正式名称は Supplementary Table S2 に示す。

4-1-A 異なる分野の知識や方法を組み合わせた新たな知見の獲得

	n	%
9割以上の会で得られた	85	6.6%
7割以上	221	17.3%
5割以上	396	30.9%
3割以上	243	19.0%
3割未満	335	26.2%
この恩恵を得られた会は殆どない	0	0.0%
総計	1280	100%

4-1-B 専門性を深めることによる研究の質の向上（高度な技術的・理論的助言をうけた、など）

	n	%
9割以上の会で得られた	102	7.9%
7割以上	278	21.6%
5割以上	383	29.8%
3割以上	258	20.1%
3割未満	264	20.5%
この恩恵を得られた会は殆どない	0	0.0%
総計	1285	100%

4-1-C 研究の方向性の適切な修正（研究テーマの再考や新たな仮説の提示につながった、など）

	n	%
9割以上の会で得られた	56	4.6%
7割以上	159	13.1%
5割以上	293	24.2%
3割以上	280	23.1%
3割未満	423	34.9%
この恩恵を得られた会は殆どない	0	0.0%
総計	1211	100%

4-1-D プレゼンテーション技術の向上

	n	%
9割以上の会で得られた	68	5.7%
7割以上	155	13.0%
5割以上	325	27.3%
3割以上	256	21.5%
3割未満	388	32.6%
この恩恵を得られた会は殆どない	0	0.0%
総計	1192	100%

4-1-E 臨床応用・社会的インパクトの評価（研究の実用化や臨床応用の可能性に関する議論があった、など）

	n	%
9割以上の会で得られた	41	3.4%
7割以上	135	11.1%
5割以上	298	24.4%
3割以上	278	22.8%
3割未満	468	38.4%
この恩恵を得られた会は殆どない	0	0.0%
総計	1220	100%

4-1-F データの妥当性・再現性の評価（統計・方法論の改善提案をうけた、など）

	n	%
9割以上の会で得られた	26	2.2%
7割以上	98	8.2%
5割以上	248	20.8%
3割以上	233	19.5%
3割未満	590	49.4%
この恩恵を得られた会は殆どない	0	0.0%
総計	1195	100%

4-1-G 共同研究の可能性（他施設・他分野とのコラボレーションの機会を得た、など）

	n	%
9割以上の会で得られた	18	1.6%
7割以上	57	4.9%
5割以上	127	10.9%
3割以上	162	14.0%
3割未満	797	68.6%
この恩恵を得られた会は殆どない	0	0.0%
総計	1161	100%

4-1-H 若手研究者の育成（指導・教育的なフィードバックを受けた、など）

	n	%
9割以上の会で得られた	34	2.8%
7割以上	119	9.8%
5割以上	270	22.3%
3割以上	277	22.9%
3割未満	509	42.1%
この恩恵を得られた会は殆どない	0	0.0%
総計	1209	100%

【V. テーマの重複について】

5-1 ご自身が主に継続して取り組んでいる発表テーマはいくつありますか？（過去3年程度）

テーマ数	n	%
1つ	193	14.6%
2つ	400	30.2%
3つ	265	20.0%
4つ	35	2.6%
5つ以上	91	6.9%
とくにテーマはない	341	25.7%
総計	1325	100%

5-2 同一テーマについて年に複数回発表したことがありますか？

	n	%
ある	912	68.8%
ない	413	31.2%
総計	1325	100%

5-3-1 最も発表回数の多いテーマについて、発表回数は年間平均何回でしたか？

	n	%
2回	455	49.0%
3回	337	36.3%
4回	53	5.7%
5回以上	83	8.9%
総計	928	100%

5-3-2 最も発表回数の多いテーマについて、発表内容はどのくらい重複していましたか？

	n	%
0～30%重複（大きく異なる内容）	49	5.4%
30～60%重複（データ解析を追加）	304	33.2%
60～90%重複（一部データを変更）	484	52.9%
90%以上重複（ほぼ同じ内容）	75	8.2%
わからない	3	0.3%
総計	915	100%

5-3-3 消化器外科学会総会で発表したテーマと同じテーマについて、同じ年に他の学会・研究会で発表したことがありますか？

	n	%
ある	662	73.0%
ない	245	27.0%
総計	907	100%

5-3-4 消化器外科学会総会で発表したテーマと同じテーマについて、同じ年に発表した会を選択してください。

※複数選択可。割合は有効回答者数（n=659）を分母として算出した。

	n	%
学会	496	75.3%
研究会	378	57.4%
その他	22	3.3%

5-3-5 同じテーマについて複数回発表することのメリットとを感じる点を選んでください。

※複数選択可。割合は有効回答者数（n=906）を分母として算出した。

	n	%
理解が深まる	383	42.3%
プレゼン能力が向上する	169	18.7%
異なるフィードバック	375	41.4%
準備が楽	538	59.4%
手続きが楽	171	18.9%
業績増	234	25.8%
その他	39	4.3%

5-3-6 同じテーマについて複数回発表することのデメリットと感じる点を選んでください。
※複数選択可。割合は有効回答者数（n=896）を分母として算出した。

	n	%
新規性に乏しい	675	75.3%
学術的な発展を感じにくい	392	43.8%
労力重複	153	17.1%
時間的負担	188	21.0%
こなす発表増加	419	46.8%
その他	18	2.0%

5-3-7 現在の状況は、メリットとデメリットのどちらが多いと感じますか？

	n	%
メリットが多い	241	27.5%
デメリットが多い	360	41.1%
同じ	193	22.1%
わからない	81	9.3%
総計	634	100%

【VI. 学会・研究会の開催経験】

6-1 学会や研究会の開催運営の何らかの実務に関与した経験はありますか？

(過去3年間程度。会長や主要責任者に限らず、スタッフとしての関与も含みます)

	n	%
あり	655	49.2%
なし	672	50.5%
未回答	5	0.4%
総計	1332	100%

【VII. 開催の状況】

7-1 開催運営に携わった学会もしくは研究会をお答えください。

※最大3項目まで選択可。

学会種別	n
参加者数が5000人以上の学会	138
1000～5000人未満の学会	117
500～1000人未満の全国学会	104
500人未満の「全国」規模の学会もしくは「全国」規模の研究会	192
「地域」単位の学会もしくは「地域」単位の研究会	269
その他（自由記載）	9
回答しない	30

7-2 開催運営に関わる業務に対し給与は発生しましたか？

	n	%
多くは給与が支払われた	32	4.9%
一部は給与が支払われた	57	8.7%
ほとんど給与は支払われなかった	72	11.0%
無償で対応した	450	68.7%
わからない	16	2.4%
未回答	28	4.3%
総計	655	100%

【VIII. 開催の詳細】

※各学会規模の定義は Supplementary Table S3 に示す。

8-1-1 どのような役割で開催運営に携わりましたか？

※複数選択可。

	≥5000	1000- 4999	500- 999	<500、 全国	地域	その他
1 全体統括（会頭、事務局長、世話人など）	19	22	25	73	128	4
2 会場確保	4	6	8	34	48	1
3 資金集め	13	26	16	51	60	0
4 演題集め	19	31	22	60	84	1
5 査読	53	47	33	57	52	0
6 プログラム編成	50	44	32	63	78	0
7 事務手続き	26	28	17	62	71	1
8 懇親会企画	35	27	19	35	42	1
9 広報	16	12	11	25	42	0
10 当日スタッフ	103	86	66	114	133	2
11 その他（自由記述）	4	2	4	2	3	3
12 回答しない	0	1	0	0	3	0

8-1-2 開催運営に携わることの魅力だと感じたことを選んでください。

※最大3項目まで選択可。

		≥5000	1000- 4999	500- 999	<500、 全国	地域	その他
1	専門分野や研究の発展に直接貢献できた	23	25	16	42	34	2
2	運営を通じて、他の研究者・医師とつながりができた	47	47	31	80	97	6
3	企画・運営を通じてリーダーシップを発揮できた	14	13	11	21	27	1
4	若手医師・研究者の育成に関わることができた	13	4	8	19	39	3
5	業績として評価されたりキャリア形成につながった	6	7	3	10	11	1
6	企業・スポンサーとのネットワークを築けた	6	8	6	23	24	1
7	同僚や後進と学びや経験を共有できた	40	26	16	34	40	0
8	地域の医療水準の向上に寄与できた	21	12	13	14	24	0
9	会の開催を通じて地域社会に貢献できた	4	0	4	5	22	0
10	特に魅力を感じなかった	47	35	39	66	92	1
11	その他（自由記述）	2	2	1	2	1	1

8-1-3 開催運営において、どのような点に課題を感じましたか？

※複数選択可。

	≥5000	1000- 4999	500- 999	<500、 全国	地域	その他
1 十分な演題数が集まらない	31	47	48	104	160	1
2 セッション数が多く、プログラム編成の負担が大きい	44	40	25	19	25	0
3 学会運営のサポート会社への委託費が高騰している	35	46	33	77	75	1
4 スポンサー企業からの支援を確保することが難しくなっている	62	69	53	128	152	4
5 オンライン開催・ハイブリッド開催の調整が負担になっている	13	16	6	14	20	0
6 会の参加者数が減少している	26	25	26	58	106	1
7 若手の参加意欲が低下している	46	40	35	68	112	1
8 特に課題と感ずることはない	20	9	11	14	14	1
9 その他（自由記述）	7	0	4	7	11	1

8-1-4 ポジティブな要素(充実感や達成感など)とネガティブな要素(疲労感や負担感など)はどちらが大きかったですか？

	≥5000	1000-4999	500-999	<500、 全国	地域	その他
ポジティブな要素が 圧倒的に大きかった	18	7	31	48	61	2
ポジティブな要素が やや大きかった	31	34	42	77	114	3
ポジティブな要素と ネガティブな要素が 同じくらいだった	31	31	22	56	64	2
ネガティブな要素が やや大きかった	25	25	0	0	0	0
ネガティブな要素が 圧倒的に大きかった	24	15	0	0	0	0
わからない	6	2	7	4	13	0

【IX. よりよい在り方】

学会・研究会の数が多く、参加や発表の機会が分散しているという声も聞かれます。このような現状について、どのような対応が望ましいとお考えですか？将来を見据え、より多くの医師にとって有益で、かつ持続可能な学術集会・研究会のあり方を検討するため、以下の案についてご意見をお聞かせください。

※評議員選出に必要な参加実績（点数）への影響や、各案の実現可能性については、今回は考慮せずにご回答ください。

9-1-1 現状のまま維持する

	n	%
大いに賛成	7	0.5%
賛成	67	5.0%
どちらともいえない	214	16.1%
やや反対	489	36.9%
大反対	550	41.4%
総計	1327	100%

9-1-2 会毎の目的を明確化する

	n	%
大いに賛成	336	25.3%
賛成	734	55.3%
どちらともいえない	223	16.8%
やや反対	29	2.2%
大反対	6	0.5%
総計	1328	100%

9-1-3 合同開催の機会を増やす

	n	%
大いに賛成	424	31.9%
賛成	564	42.5%
どちらともいえない	240	18.1%
やや反対	72	5.4%
大反対	28	2.1%
総計	1328	100%

9-1-4 各々の会の運営の効率化を図る

	n	%
大いに賛成	487	36.7%
賛成	692	52.2%
どちらともいえない	129	9.7%
やや反対	11	0.8%
大反対	7	0.5%
総計	1326	100%

9-1-5 会を統合する

	n	%
大いに賛成	653	49.3%
賛成	484	36.5%
どちらともいえない	150	11.3%
やや反対	32	2.4%
大反対	6	0.5%
総計	1325	100%

9-1-6 一部の会を廃止する

	n	%
大いに賛成	684	51.7%
賛成	442	33.4%
どちらともいえない	162	12.2%
やや反対	29	2.2%
大反対	7	0.5%
総計	1324	100%

9-2 「学会・研究会のよりよいあり方」について意見があれば記載してください(自由記述)

回答数：400 件

※1 回答が複数カテゴリに該当する場合は重複計上した。割合は自由記載総数 400 件を分母として算出。

	n	%
参加負担	158	39.5%
参加の自発性・組織内力学	84	21.0%
学術的意義・重複への疑問	107	26.8%
運営負担・人的資源	11	2.8%
財政運営・資金配分への意見	37	9.3%
学会の集約・再編に関する意見	334	83.5%

【X. データ共有について】

10 本アンケート結果は今後、他研究との共同利用をされる可能性があります。

外部への調査結果を望まない場合は以下にチェックを入れてください。

	n	%
承諾する	1299	97.5%
承諾しない	33	2.5%
	1332	100%